

議会だより

73 のとちょう

2023. 8. 1

奥能登地震に係る災害復旧費を補正 6月定例会議・5月会議	2-3
一般質問	4-10
議案をチェック・常任委員会レポート	11-12
教育厚生常任委員会管外視察報告	13
なり手不足解消調査特別委員会から	14
主な議会活動	15
まちかどインタビュー 編集後記	16

る災害復旧経費のほか、 に係る経費などを補正

事業費も計上。

を追加し、予算総額を155億3005万円に。

主な補正予算

○総務費

- ・地震による総合支所等の修繕費を計上
- ・物価高騰の影響を受けている交通事業者に対し、物価高騰対策支援として交付金を計上

○民生費

- ・物価高騰の影響を受けている福祉施設等に対し、物価高騰対策支援として交付金を計上
- ・物価高騰の影響を受けている私立認定こども園に対し、物価高騰対策支援として交付金を計上

○衛生費

- ・新型コロナウイルスワクチンの春開始接種と、秋開始接種の接種費用に関する経費を計上
- ・地震による能登三郷斎場等の修繕費を追加

○農林水産業費

- ・配合飼料価格の高止まりの影響を受けている事業者に対し、配合飼料価格高騰対策支援として補助金を計上

○商工費

- ・地域循環型の電子マネー付ポイントカード（ひまわりカード）を普及するための、補助金の追加や諸経費を計上
- ・地震による観光施設の修繕費及び負担金を計上

○教育費

- ・地震による小中学校、社会教育施設、体育施設等の修繕費を計上

○災害復旧費

- ・地震災害による農地、農業用施設の災害復旧費のほか、土砂撤去のための機械借上料を計上

令和5年第4回能登町議会6月定例会議を6月6日から15日にかけて開会し、町長提出議案20件、報告6件が提出された。議案は令和5年度の補正予算のほか条例改正や請負契約の締結などであり、各常任委員会で審査し

全議案を可決した。また農業委員会委員の任命については、初日に採決し同意した。13日には、7人の議員が町政全般について一般質問を行った。

令和5年奥能登地震に係 ひまわりカードの普及

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金事業費、新型コロナワクチン接種

令和5年度一般会計予算は、2億5669万円



クラック(ひび割れ)の入った学校の壁



地震による農地災害

その他の主な議案

○請負契約の締結

- 令和5年度 役場跡地整備事業(仮称)大屋根広場整備工事(建築)
株式会社 鼎建設 代表取締役 小間 望
- 令和5年度 能登町立白丸公民館整備工事(建築)
株式会社 西中建設 代表取締役 西中 順治
- 令和5年度 旧柳田小学校解体工事
北能産業 株式会社 代表取締役 福池 功

○農業委員会委員の任命

河原 東洋史 氏(宮地)	井畠 網臣 氏(崎山)	赤崎 由美子 氏(瑞穂)
的場 清一 氏(鶴町)	川崎 時夫 氏(黒川)	赤田 明 氏(笹川)
上野 朋子 氏(五郎左エ門分)	坂下 政浩 氏(鈴ヶ嶺)	大山 直美 氏(内浦長尾)
橋谷 久司 氏(立壁)	末次 芳幸 氏(行延)	西谷内 としえ 氏(市之瀬)

5月会議

5月10日に『令和5年第3回能登町議会5月会議』を開会した。電力・ガスを始めとしたエネルギー・食料品価格等の物価高騰に対する負担軽減策として、特に家計への影響が大きい低所得の世帯と低所得の子育て世帯に対し、給付金を支給するための補正予算1件を可決した。

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

6月定例会議の一般質問（13日）

問 新規遊具整備に係る方針を問う

答 安全・安心な目玉遊具を設置する



小浦 肇 議員

問 令和5年度予算から着手する「ふれあいの里施設遊具整備事業」を進めるうえでの方針を示せ。

答 町長 現在24カ所ある公園の遊具は、更新・再構築はせず、不安全な遊具を順次撤去している。今回、皆が憩える場所を集約する意味合いも込め、町の中心部である柳田植物公園に、新規遊具整備を計画した。整備方針として、子供が飽きずに遊べ、公園の

目玉となり、安全・安心が確保され、子供がもう一回行きたくなる、親もまた連れて行きたいと思える遊具を整備する。

問 担当部門は、子育て世代の声を取り入れ、町長の方針をどのように進めるのか示せ。

答 ふるさと振興課長 遊具設置場所は、屋外バーベキュー施設跡地を含めた旧噴水広場で、保護者の注意が行き渡る範囲とする。遊具の仕様を決める際は、市場や近隣市町の現況を調査し、専門家の意見や利用者の中心となる、小学生以下の子供の保護者の意見を取り入れる。そして、子供達の健全な成長を促す遊び場と交流人口拡大を目指した、安全・安心な憩いの空間創出を目指す。

問 なごみ大改修に係る方針を示せ

答 利用者意見を聴き長寿命化を図る

問 令和5年度予算から着手する健康福祉の郷「なごみ」の大規模改修を進めるうえでの方針を示せ。

答 健康福祉課長 なごみは、平成16年にオープンし18年経過しており、全体的に老朽化が進み、躯体や設備の不具合が多く発生し、その都度修繕を重ねてきた。具体的な改修内容やサービスの見直しは、専門家による劣化度合い調査や、指定管理者及び併設する施設の管理者の意見、そして利用者へのアンケート調査から、ハード・ソフト両面の課題を整理して、利用者が要望を参考とし、利用者が快適に過ごせる空間を構築するように取り組む。

問 担当部門は、集客アツプを織込み町長の方針をどのように進めるのか示せ。



健康福祉の郷なごみ外観

問 防災備蓄倉庫の場所は最適か

答 今は、最適ではないと判断する

問

石川県は今年5月19日付で、新たな河川の洪水浸水想定区域図をホームページに公開した。その中には、※能登町防災備蓄倉庫のすぐ近くを流れる上町川の洪水浸水想定区域図も含まれている。その図によれば、防災備蓄倉庫の場所は上町川の洪水浸水想定区域内に位置していることが示されている。それにもかかわらず、町は能登町防災備蓄倉庫の現在の場所が適切だと考えるのか。

答 町長

昨年の9月議会の答弁では、能登町防災備蓄倉庫の立地条件は土砂災害警戒区域に該当しないことや、上町川の洪水浸水想定区域が設定されていない状況であることを考慮し、その場所が最適であると判断した。しかし、最近公表された上町川の洪水浸水想定区域図により、能登町防災備蓄倉庫が洪水浸水想定区域内に位置していることが判明した。したがって、現在では能登町防災備蓄倉庫



馬場 等 議員

の場所は最適でないと判断する。

※能登町防災備蓄倉庫

町全体の防災備蓄品の半分を保管する集中備蓄拠点である。

備蓄品の残り半分は、小中学校の9カ所に分散保管している。

問 新たに防災備蓄品を置く場所は

答 今すぐ移転、備蓄品移動は難しい

問

これから梅雨や台風などによる大雨の時期になり、土砂災害や洪水による被害が想定される。早急に、現在の防災備蓄倉庫の備品を安全な施設に移動すべきである。町の考えはどうか。

答 総務課長

備蓄倉庫の移転に関しては、今すぐにはできない。しかし、今後は分散備蓄の場所である小中学校において、分散の割合や物資の内容などが必要に応じて見直しを行っていく予定である。



能登町防災備蓄倉庫

その他質問

※緊急浚渫推進事業の進捗状況は。

答 建設水道課長

令和4年度までの3年の実績として、14河川、約5190㎡の土砂除去と、約300㎡の支障木伐採を完了している。また、県が管理する2級河川についての実績を確認したところ、令和2年度からの3年間で6河川実施している。

※緊急浚渫推進事業

令和2年度～令和6年度までの5年間で実施する事業で、河川に堆積した土砂の撤去や、雑木の伐採などを行う事業。

令和5年度は県が管理する2級河川では、梶川と梅ノ木川の2河川。町が管理する普通河川では、柏木川、寺田川、鈴江川、岩井戸川、寺分川、余ノ井川、久田川、滝ノ坊川、滝波川、梅ノ木川の10河川の予定。

現在、第4次能登町行政改革大綱が実行されている。今年1月20日に行われた行政改革推進委員会での会議録によると、職員の見直しを予定しているとなっていた。実際に見直したのであれば、どのような点を見直したのか、またその理由は何か。

答 総務課長

令和4年度末に見直しを行った。見直しの理由は定年延長制度導入によるものである。見直した点は、新たな職員の採用においては、退職者の補充ではなく採用者の平準化を行うこと。地方公営企業法の適用がなされた下水道事業を定員適正化計画の対象から除外したことなどである。



吉田 義法 議員

問 上水道未設置地区の取水補助を

答 要望があれば制度設計は必要

問 ①給水区域内で未給水の地区はどこか。未給水の事由は何か。また、給水区域外の地区より給水の要望があった場合の対処は。

②給水区域外である滝之坊地区からの要望で、実施した取水施設再整備事業の経過は。

③輪島市や珠洲市には、未給水地区の集落や世帯に対して取水施設を整備する補助制度がある。当町においても制度を設けるべきだ。

答 建設水道課担当課長
①給水区域内の未給水地区は宮地、鮭尾、太田原、柏木、俎倉の5地区で、平成25年度に加入意向調査を実施したが、希望は3割未満。費用対効果を考慮し事業を中止した。また、給水区域の拡大は行っていない。

答 農林水産課長
②国の農村総合整備事業を活用し取水事業を行ったが、掘削した井戸水は塩分濃度が高く取水量も少量であったため、事業の中止を余儀なくされた。

答 町長
③井戸を掘削する補助制度について、要望があれば制度設計をしなければならぬと考える。



滝ノ坊地区

問 産学官連携で養殖業を推進せよ

答 協力し養殖業の支援を進めたい

問 ①当町における養殖業の現状は。また、技術を習得し、新規事業に参入しようとする者への支援制度はあるか。

②雇用創出の一つの方策として養殖業への参入を促進してはどうか。対象は町内外を問わず、町内で養殖業を営むことを条件として、参入しようとする者と能登海洋水産センターの間を取持つことや、町支援制度の活用促進等のセミナーを積極的に開催するべきだと考える。

促進活性化事業があり、補助率は2分の1で限度額は250万円。養殖する建物に対する養殖業施設整備事業では補助率10分の3で限度額は600万円。いずれも海洋水産センターの技術支援を受けた事業所や個人が対象で、問合せ先は町農林水産課（6218524）。

答 町長
②昨今、漁業を取り巻く環境は厳しい。今後、養殖業も重要な選択肢となると考える。養殖業の参入への相談があれば、海洋水産センターの協力を得ながら当町の支援制度を活用し進めていきたい。

答 農林水産課長
①当町の養殖業者は海上養殖1軒、陸上養殖2軒。魚種はヒラメやマス、トラフグ等。支援事業としては、水槽や給水タンク等の設備に対する養殖業

その他質問

海洋水産センター施設整備の総額と財源は。また、金沢大学に譲渡が検討されているが、建設当初からの計画なのか。

答 総務課長
総額6億1590万円
で財源は地域活性化事業債と合併振興基金を活用。

答 町長
無償譲渡する覚書を平成31年2月7日に締結。地域住民や教育機関との連携並びに、新たな産業となり得る海洋資源の研究と開発に寄与するための施設。譲渡後も趣旨に留意し活用してもらう予定。



海洋水産センター外観



田端 雄市 議員



がん検診 (イメージ)

問 がん検診の受診率を問う

答 国・県の方針を参考に進める

問

第4期のがん対策基本計画を政府が決定した。計画には、職域検診を含め、受診率の目標を60%としている。現在、町は、国保の受診率は把握しているが、職域部分は把握していない。

答 町長

県内市町が実施するがん検診の受診率は10〜20%程度であり、当町(国保加入者)は受診率の目標を25%として取り組んでいる。特定年齢への無料クーポン券の配布や、受診率の低い胃がん検診への対策として、個別通知もしている。また、国保以外の社会保険等加入者も、対象となるすべての方が受診できる体制になっている。

国の基本計画への取組みについては、県の方針を参考に進めていきたい。

問 がん検診の無料化を要望

答 65才以上の無料化は考えていない

問

特定健診に合わせ、それぞれ、がん検診も受けられるようになっていく。町は今日まで、自己負担の軽減も図りながら、本事業を進めてきた。今後、65才以上の方には、健康を守り、経済負担軽減の意味から完全無料化を要望する。受診率を上げる最大のインセンティブは、無料化であると考える。

答 町長

県内の市町のがん検診については、集団検診、医療機関での受診等、負担は、さまざまである。当町は、5歳刻みの年齢の方に無料クーポン券を発行している。また、平成28年度から自己負担を安価にしており、現在、65歳以上の無料化は考えていない。

問

政府の基本計画では、職域検診の法的位置づけをし、受診率の向上を図るとしている。職域検診の利点は職場の現役世代をがんから守ることである。町は、町内事業者が取り組みやすい知識の普及活動を提示し、先行実施することを検討すべきだ。

答 町長

役場職員のがん検診の受診率は把握していない。役場を事業所のモデルとして取り組むことも考えていない。町民への安定した行政サービスを提供するため、職員の健康管理は重要であり、受診勧奨は今後も行っていく。

その他質問

がん教育の拡充を求める



町防災士会 災害ボランティアの様子



市濱 等 議員

問 入札制度主観的要件の追加要件は

答 防災士の雇用を追加

問 能登町の建設工事競争入札における参加資格の主観的事項審査の取扱要綱を確認したい。また、県内の市町でも同様の審査が導入されているか知りたい。さらに、自主防災組織への協力が求められており、町防災士会への入会者や活動協力者の追加が適切であると考え

答 企画財政課長 主要な要件は技術力、社会性、災害協定締結、除雪対応、消防団協力事業所、障害者雇用、女性技術者雇用である。今年度より災害対応や地域貢献に寄与することが認められ、防災士の雇用を追加した。石川県、珠洲市、羽咋市も同様に導入している。

防災士を雇用するだけでなく、防災活動への協力も要件としている。防災士会への入会と防災活動の実施があれば同等に扱われる。

問 県道35号・国道249号の難所解消は

答 県に事業化を働きかける

その他質問 町の海岸線には景勝地である遠島山公園や赤崎海岸、九十九湾などがあるが、これらの地域には松くい虫対策が十分に行き届いていない。上空散布に加えて、柳田植物公園でも地上散布を実施しているが、さまざまな手法を取り入れるべきだ。

問 県道と国道のダブルラダー構想は特に能登町ではなかなか進展していない。教育環境では中学校の統合が議論されている。移動手段や道路環境の整備が急務だ。現状について聞きたい。町内会で危険箇所に対する要望を提出した。対応状況について聞きたい。

答 建設水道課長 本木地区と真脇地区に関しては、能登総合開発促進協議会と町長会を通じて県に推進要望を行っている。羽根地区、小浦地区、越坂地区については既に県に要望書を進達している。対策が必要な箇所については、事業化に向けて県に働きかけを行っている。

答 農林水産課長 平成30年度をピークに当町の被害は減少傾向にある。景勝地などでの支障木については、県および森林組合と共同で樹木の健全な保全に取り組むため、調査や伐採を行っている。柳田植物公園以外の地上散布については、機器の搬入路などの問題があり、実施が難しい場所もある。今後も立地や地理的条件、費用対効果



松くい虫防除空中散布の様子

を考慮しながら、効果的な方法で今後も継続していく予定である。



酒元 法子 議員

問 固定資産税の減税措置の考えは

答 法律に基づいた措置となる

能登町でも少子・高齢化が進み、空き家と休耕地が増加し、住み慣れた家を離れなければならぬ境遇に立たされ、仕方なく空き家になってしまふ傾向が強い。また休耕地にしても、後継者がいないため、休耕地になっている。山林も、育てた木々が必要とされない。売り払っても収入が少ない状況の中で手入れもできない。このような状況の方々に対して、固定資産税の減税措置を考えているのか。

問

答 町長

町では、地方税法に基づいて固定資産税の賦課をしており、軽減措置についても法律に基づいた取扱いとなっている。

町のふるさと空き家情報制度に登録された空き家について、家財道具等の処分助成や、活用援助も行っている。解体の助成もある。



税金 (イメージ)

問 固定資産税に代わる税収で対策を

答 固定資産の評価は法律による

問

空き家を、町でリノベーションして新規に貸し出したり、Ｕターン、Ｉターン、新規移住者に貸し付ける方法など取っているのか。

固定資産税に代わる永続的税収を見つけ出し、充当できれば、税率評価額を引き下げることが可能になるのではないかと。増収分は、減税効果に変えられる対策、政策として還元できないか。

答 町長

定住促進協議会では空き家対策を行っており、リノベーションに対しても間に入って進めている。

町内の休耕地、休耕地、山林などを町が管理し何かに使うということは不可能である。

固定資産の評価は、国が定めた評価基準があり、土地と家屋は、原則3年ごとに評価替えを行って

いる。3年間の価格の変

動に対し、均衡の取れた適正な価格に見直しを行うもので、宅地においては毎年修正を行っている。

また、農地や山林の評価については、現況の類似する地区ごとに標準的な田畑、山林を選定し、その適正な時価と比べて不動産鑑定士が各筆を評価している。



耕作放棄地 (イメージ)



志幸 松栄 議員

問 共同墓地に対する今後の考えは

答 合葬墓の建設は考えていない

問 少子化や高齢化が進む今日の社会情勢において、多数の遺骨を共同で納める合葬墓を整備する動きが県内の市町で広がっているが、当町の考えは。造成済みの墓地公園の空き区画の有無と返還の手続きについて、どのように周知しているのか。

答 町長 先祖代々の墓を継承し、維持していくことが困難なケースがあることは認識している。近年、都市部においても、合葬墓が少しずつ建設されており、県内でも一部の自治体に



能登町墓地公園

において整備させている。しかし、当町では墓地公園を整備しており、利用者や申込者数が多いことから、合葬墓の建設を早急に行うことは現時点では考えていない。

答 住民課長 令和5年6月時点の墓地公園の区画は621区画あり、そのうち9区画の空きがある。返還の手続きについては、町のホームページ、町の広報にて周知している。10年経過しても墓を建立されていない使用者には、管理料の更新請求時に返還制度の案内をしている。

問 令和3年6月に発生した千葉県八街市の通学路での事故を受け、当町の通学路の現況は。

答 教育長 千葉県の通学路の事故を受け、国と警察庁が連携し作成した合同点検等実施要領を基に、当町でも点検した結果、32カ所を抽出し、そのうち31カ所が対策済み、残り1カ所は、現在対策中である。また、教育委員会では、平成26年度に町通学路交通安全プログラムを策定し、毎年、学校、PTA、道路管理者、警察等と合同点検を行っている。その点検結果に基づき注意喚起箇所等について、関係機関が具体的な対策方針を協議し、順次改善報告と今後の対策を実施している。

問 通学路の安全対策の現況は

答 関係機関と協議し実施



通学路交通安全点検の様子



議案をチェック

6月定例会議の議案質疑

問 鍛冶谷員一 議員
 役場跡地整備事業（仮称）大屋根広場整備工事の工期は。

答 企画財政課長

議決日の翌日が着工日で完成は令和6年3月20日を予定している。

完成した際のオープニングイベントについて、また施設の活用は。

答 ふるさと振興課長

完成した際には、町内外に幅広く周知できるような機会を設けたい。

地域住民に日常的に親しまれる広場として、また寒ブリまつりをはじめ、町の活性化や観光拠点として商店街や地域行事での活用を図りたい。

あばれ祭りでは、大勢



（仮称）大屋根広場整備事業

の見物客を收容することができると、効果的な活用を努めたい。

総務産業建設委員会

吉田義法（委員長）
 小浦 肇（副委員長）
 南 正晴 酒元法子
 河田信彰 志幸松栄

問 キャッシュレス決済推進協議会補助金の詳細は。

答 ひまわりカードの新規作成時と既保有カードに2000円相当のポイントを付与する。また、プレミアムチャージイベントとして5000円以上チャージすると、2000円相当のポイントを付与する。合わせて4000円相当のポイント付与に係る費用を補助する。

問 旧内浦地区で、既に保有されている方々にもポイントは付与されるのか。

答 スペシャルポイントとプレミアムチャージイベント

ントに参加すれば、4000ポイントは付与される。

問 ひまわりカードへの現金チャージ機は、どこに設置されるのか。

答 現時点での案は、宇出津商店街中心の「かくだストア」内エントランスに設置する予定である。

問 ひまわりカード現金チャージ機を、「かくだストア」に設置する場合、チャージの仕方など、分からない場合の対応はどうなるのか。

答 現在、設置同意のみを得ているが、操作要領が分からない場合の対応は今後「かくだストア」に、操作指導・案内などの支援・協力をお願いすることになる。

問 林道整備事業の120万円減額理由は何か。

答 農林水産業費国庫補助金125万円が追加されたので、地方債を940万円から820万円に減額した。

問 農業機械等共同利用事業は、どのような機械に補助するのか。

答 4条刈りのコンバインである。担い手農業機械導入支援事業で、国の事業採択を受け、町が消費税相当分を補助するもので、今回は法人が受ける。

問 対象者は、人農地プランに位置付けられた中心経営体である。採択基準に達すれば、法人・個人が対象になる。但し、先に必要な認定取得が必要か。

答 配合飼料価格高騰対策支援事業18件1700万円の内訳を示せ。
 酪農6件・肉用牛肥育7件・肉用繁殖2件は、



林道伐採作業



配合飼料価格高騰対策（イメージ）

問 農林水産業費の倒木処理7路線はどこか。

答 上河内線は（北河内）、山中線は（山中）、唐杉線は（鮭尾）、矢淵線は（矢波）、吉谷線は（吉谷）の5線路で、2線路は予備として計上。

〔問〕 漆原上水施設跡地の倉庫建設を見直し、他の施設利用や他施設に集約できないのか。

〔答〕 現倉庫は、恋路にある旧松波配水池施設を改造して利用している。老朽化が進み、役場から遠いため、夜間の漏水対応に難儀しており解体を予定している。

〔問〕 業者に資材や道具を渡す便宜も図られることから、役場近くの漆原に簡易倉庫設置を計画した。

〔答〕 道路橋梁新設改良費の主な箇所は。河川費の詳細を示せ。

〔問〕 「社会資本整備総合交付金事業」で、町道藤波字出津1号線・藤ノ瀬7号線・矢波俎倉1号線・小間生1号線など10路線。「地方創生道整備推進交付金事業」は、小木12号線・2級当目1号線・真脇13号線・1級九里川尻越坂1号線など11路線。「道路メンテナンス事業」

は、新五期河原橋架け替えと、松波の港橋補修の2橋。

〔問〕 「交通安全対策事業」は、鶴川6号線・1級宇出津藤波の2路線。「町道法面崩壊緊急対策事業」は、1級柳田国光1号線・1級神和住柳田1号線など5路線である。

〔答〕 河川維持管理費は、普通河川柏木川・寺分川・久田川など10河川。河川改修事業は、河ヶ谷川・滝波川・寺分川など8河川。

〔問〕 「急傾斜崩壊対策事業」は、黒川地区を予定。

教育厚生委員会

小路政敏（委員長）

馬場 等（副委員長）

田端雄市 金七祐太郎

市濱 等 向峠茂人

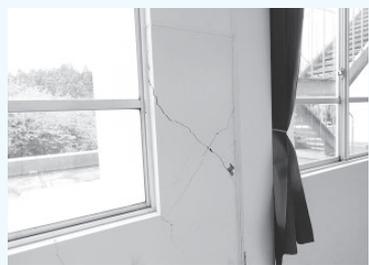
鍛冶谷眞一

〔問〕 地震災害による修繕の工事請負費は随意契約か。

〔答〕 需用費の修繕料については見積もりを徴収して発注し、工事請負費は工事の設計書を作成し入札執行する予定である。

〔問〕 クラック（ひび割れ）はどのような直し方をするのか。

〔答〕 クラックの大きさによるが、大体はヒカットでクラックに沿ってサンダーなどで削り、そこにシールや充填剤を注入し、周りと馴染みよくするために塗装する。



地震によるクラック（ひび割れ）

〔問〕 小本小学校の地下貯水槽はどんな目的でつくられているか。

〔答〕 消防用の防火水槽で、今回の地震とは関係ない。今年の3月に定期点検で確認した際に、水が溜まらず抜けていくため今回修繕費を計上した。

〔問〕 コロナワクチン接種事業について、送迎と使用料、賃借料について説明を。

〔答〕 前回は、各事業所に電気代やガス代、油代、食費

〔問〕 送迎は、公共交通機関が不十分な地区にマイクロボスを出している。春と秋接種の2回分である。使用料及び賃借料は、予約システムの使用料である。コールセンターで予約を受けた時に、専用システムで管理している。

〔問〕 コロナは5類となったが、コールセンターは今後どんな位置づけになるのか。

〔答〕 コールセンターは、今年度いっぱい町が設置する。来年度以降は各医療機関で受付する予定である。今年度の春接種までは、国がほぼ全額手当する。秋は未確定である。

〔問〕 福祉施設の物価高騰対策の基準について、決め方は。また先行きが見えない中で、毎年事業を継続できるのか。

〔答〕 4月から電気代が高くなっているが、6月議会時点では、実際どれだけ高くなったのか出ていないため、前回と同じ単価で設定している。事業の継続については交付金があれば検討する。

〔問〕

〔答〕

〔問〕

〔答〕

〔問〕

〔答〕

〔問〕

〔答〕

管外視察報告

「広域連合で地域医療を支える」

(つがる西北五広域連合による自治体病院再編成事例)

教育厚生常任委員会副委員長 馬場 等

令和5年7月11日(火)～13日(木)にかけて当委員会は視察研修を行った。

視察先は青森県五所川原市、つがる総合病院内の西北五広域連合病院運営局である。

視察の目的は、「病院のネットワーク化・集約化及び広域連合による病院の運営等」について学ぶことである。つがる西北五広域連合による5自治体病院の再編の経緯や、諸問題をどう解決されたか聞いた。

応対したのは、広域連合病院運営局課長 永山大介氏と成田弘人氏。

青森県には6つの二次保健医療圏(青森、弘前、八戸、上十三、西北五、下北)があり、西北五広域二次保健医療圏は県内で2番目に広い圏域である。当圏

主な質問は次の通りである。

- ① 医師の確保はどのようにしているのか
- ② つがる総合病院までの交通手段と立体駐車場の利用状況は
- ③ 各地域における民間病院の現状は
- ④ 中核病院とサテライト医療機関の役割分担(小児科、産婦人科、透析、コロナ感染症対応など)はどうか
- ⑤ 広域連合に転換する際の各首町は難色を示さなかったか。

2市4町で構成する、つがる西北五広域連合(人口119,605人、面積1,752㎡)に対して、

2市2町で構成する、奥能登広域圏事務組合(人口56,358人、面積1,130km²)。

能登北部医療圏は2市2町それぞれ公立病院があり、医師や看護師をはじめ、医療現場における補助的な役割を果たす専門職やスタッフの不足が共通の問題

域には5つの自治体病院があり、それぞれが実施自治体の住民を中心に医療の提供や医師確保に努めてきたが、医師不足の深刻化、医業収益の低迷等により経営状況が悪化していた。

地域医療を確保していくためには、医療の中核をなす基幹病院(つがる総合病院)とこれを支援するサテライト医療機関(かなぎ病院、鱒ヶ沢病院、つがる市民診療所、鶴田診療所)に再編し連携体制を構築していくこととした。西北五広域全体で地域医療を支えていくために、将来の広域運営体制を見通し、つがる西北五広域連合で病院再編成事務を行っていくこととなった。

となっている。過疎化による患者の減少、経営の悪化と視察先の西北五広域二次保健医療圏と同様な問題を抱えている。今後の能登北部医療圏における公立4病院の集約・ネットワーク化を推進するための大きなヒントとなった。2市2町の広域圏で行政サービスを行う重要性について強く再認識をした視察研修だった。



研修を受ける委員(青森県五所川原市にて)



つがる総合病院前にて

能登町議会議員なり手不足解消調査特別委員会から

憲法第93条において「地方自治体はその議事機関として議会を設置する」となっています。政治が無力なのか、先般の統一地方選では議員のなり手不足が浮き彫りとなり、全国的にも政治の在り方が問われる大きな問題として突き付けられました。

能登町においても昨秋の町議選において、2005年の合併後初めて無投票で終わり、町民の皆さまは選ぶ権利を行使することができませんでした。能登町議会としても、この事態を重く受け

止め、石川県19市町に先がけて令和5年3月定例会議において議員各位の賛同を得てこの特別委員会を設置しました。

13名*の議員全員が、この特別委員会の委員でありますので、遠慮なく声をかけてくだされば嬉しく思います。

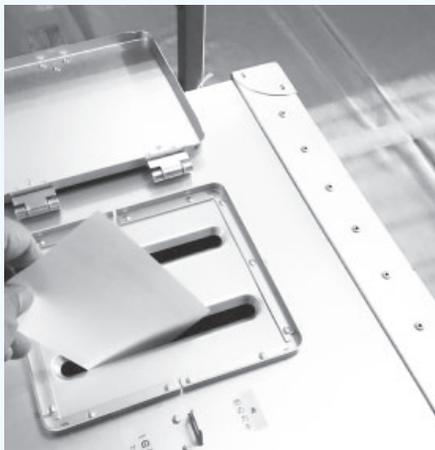
今後の活動としましては、研修会等を実施しつつ、各種団体や町民の皆さまとの意見交換会を開催し、ご意見やご要望などについてもお聞きできればと考えています。

令和6年9月定例会議までには報告書を作成し、議長に提出して議決を得たいと考えております。

働く議会、活動の見える議会、明るく元気な議会を目指して、なり手不足の解消を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

能登町議会議員なり手不足解消特別委員会
委員長 鍛冶谷 眞一

※現在1名欠員



投票（イメージ）

奥能登地震 見舞金

5月5日に発生した「令和5年奥能登地震」に際し、能登町議会を来訪された志賀町、宝達志水町の議会議長と副議長よりお見舞金をいただきました。



志賀町議会



宝達志水町議会

全国表彰 取材

能登町議会が全国町村議会全国表彰を受賞したことにより、令和5年5月9日、全国町村議会議長会から皆川参事が取材に訪れた。

（地方議会人8月号に掲載される予定）



全国町村議会議長会の取材に応じる金七議長

4月から6月の主な議会活動

4月13日	石川県町村議会議長会定期総会・功労者表彰式 (KKRホテル金沢)
4月19日	広報編集特別委員会
4月25日	議会運営委員会
5月10日	議会運営委員会・議員全員協議会・第3回能登町議会 5月会議
5月18日	能登地区町議会連絡会総会(中能登町)
5月23日	全国町村議会議長・副議長研修会(東京都・25日まで)
5月29日	議会運営委員会
5月30日	奥能登市町議会議長連絡協議会定期総会 (柳田総合支所)
6月2日	議員全員協議会
6月6日	第4回能登町議会6月定例会議(議案上程)
6月7日	各常任委員会(〜8日)
6月13日	議会運営委員会・第4回能登町議会6月定例会議 (一般質問)・総務産業建設常任委員会
6月15日	第4回能登町議会6月定例会議(採決)
6月21日	石川県町村議会議長会臨時総会(県地場産業センター)

令和5年出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 公…他の公務あり ー…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名	小浦 肇	吉田 義法	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	南 正晴	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	鍛冶谷 眞一
4月19日	広報編集特別委員会		○	○	○	○	ー	○	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー
4月25日	議会運営委員会		ー	○	○	ー	オ	ー	ー	○	○	○	○	ー	ー
5月10日	議会運営委員会		ー	○	○	ー	オ	ー	ー	○	○	○	○	ー	ー
5月10日	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月10日	5月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月29日	議会運営委員会		ー	○	○	ー	オ	ー	ー	○	○	○	○	ー	ー
6月2日	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
6月6日	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月7日	教育厚生常任委員会		ー	ー	○	○	○	ー	○	○	ー	ー	○	ー	○
6月8日	総務産業建設常任委員会		○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	○	ー	○	ー
6月13日	議会運営委員会		ー	○	○	ー	オ	ー	ー	○	○	○	○	ー	ー
6月13日	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月13日	総務産業建設常任委員会		○	○	ー	ー	ー	○	ー	ー	○	欠	ー	○	ー
6月15日	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

まちかど

インタビュー

今回のまちかどインタビューは、「奥能登みっちーファーム」の道花正博さん、敬子さんご夫婦です。

インタビュー
吉田 義法

◆「奥能登みっちーファーム」について教えてください。

(敬子さん) 夫婦で原木シイタケの「とー115」を栽培しており、生シイタケと乾燥シイタケを個人販売や通信販売しています。



道花さんご夫婦

豊かなる
夫婦で紡ぐ能登の里山

◆原木シイタケを栽培するきっかけは何ですか。

(正博さん) 西日本ジェイアールで高速バスの運転手をしていましたが、退職し金沢からUターンした際、父親が以前、栽培していたのを見ており、自分もやってみようと思いました。

◆シイタケ栽培で苦労されたことは何ですか。

(正博さん) 自宅の裏山で栽培していますが、まず作業道を付けることに苦労しました。それと12月から3月に収穫するため、ホダ木をハウスの中に移動させなければなりません。また、始めたころは、パッケージ作り

や販売先を確保するのに苦労しましたが、妻がやってくれたので助かりました。

◆シイタケ栽培の魅力は何ですか。

(ご夫婦そろって) お客様から、おいしいと言ってもらえることが嬉しいです。また、厳しい基準があるため、年間10、20個しかとれません、肉厚の「のとてまり」を作ることです。

◆ご夫婦での林業について、良い点を聞かせてください。

(正博さん) 一人より二人の方が作業効率が良いですし、アイディアも2倍です。ほとんど妻のアイディアですが(笑) ◆最後に一言、聞かせてください。



チェーンソーを使う敬子さん



シイタケ山



イベントに出店

(正博さん) 山から伐り出した木はホダ木の他マキとして使い必要以上の伐採は行わず、山林の保全に努めながらシイタケ栽培を行っていきたいです。

(敬子さん) 自伐型林業を学んでおり、自分でも作業道を作ってみたいです。また、一次産業の林業を盛り上げていきたいです。そのためには、儲かる仕組み作りが必要だと思っています。行政には就業者の支援をお願いしたいです。

次の定例会議は9月6日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、および有線テレビでお知らせしています。傍聴にお越しの際は、引き続き基本的な感染防止対策のご協力をお願いします。

広報編集	
特別委員会	
委員長	馬場 等
副委員長	小浦 肇
委員	吉田 義法
	田端 雄市
	南 正晴
	小路 政敏

編集後記

道花さんご夫婦が取り組む林業は、小規模であっても生業として成立つように工夫されており、環境保全にも努められています。これからの林業には必要なことだと感じました。いつも穏やかで優しい眼差しが印象的な正博さんとエネルギーがシユで明るい性格の敬子さん。これからも、ご夫婦で能登の里山を照らしていただきたいです。

(委員 吉田 義法)